

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成28年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京文化財研究所)	
案件番号	2	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	文化財情報ネットワークシステム保守業務 一式	
契約締結日	平成28年4月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	富士ゼロックス株式会社	
入札経緯及び結果	平成28年3月2日 入札公告	
	平成28年3月23日 関係書類提出締切	
	平成28年3月29日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	機種の一部を保守対象から除外した。
②業務等準備期間の十分な確保	△	次回は入札公告を今回より早く行う。
③公告期間の見直し	○	公告期間を21日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	入札書受領業者数:2者 (辞退した業者の理由 想定している案件ではなかったため。)
⑦競争参加資格の拡大	○	従前どおり、D等級まで対象にしている。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
「②業務等準備期間の十分な確保」について、適切な業務等準備期間の確保を検討している。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。引き続きこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 引き続き、一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。